



行きます。聞きます。提案します

～商工会の支援事例～ 12

事業計画策定及び補助金活用による売上増加策支援

Dolphin Smile(ドルフィン スマイル)：能登鹿北商工会

創業したばかりで不安定

Dolphin Smile (ドルフィン スマイル)は、平成二十七年七月に能登島で創業したイルカウォッチング・スイム、カヤックなど、海での遊び(マリンアクティビティ) 体験を楽しむお店です。

代表の近本杏里さんは、金沢市出身で東京都自然ガイドの資格を取得し、東京の三宅島などでイルカと一緒に泳ぐドルフィンスイムインストラクターとして活動。その後、「能登島イルカ保護委員会」の認定ガイドを務めることとなり、それがご縁で当地での創業を決意。

創業当時は、知名度がなく季節変動も大きい業種ということで、不安定な経営状態が続いていたこともあり、翌年五月に具体的な相談が商工会に。そこから経営支援が始まりました。

まず初めに現状分析

まず初めに、近本代表と現状分析、課題の整理を行い、次の方向性で目標達成(売上増加と知名度向上)を目指すこととしました。

《現状分析》

●売上、利益ともマリンアクティビティが中心であり、その利用が増えればカフェの利用の増加が見込める。
●季節による売上のバラツキが非常に大きい。
●当地では競合が少ない業種であり、知名度向上に売上向上が見込める。

《方向性》

売上を伸ばすためには、喜ばれるアクティビティ・サービスを追加し、当面は繁忙期(七月・八月)とその前後二か月に集中して行う。追加したアクティビティは、その都度、ホームページやSNSで情報発信を実施する。

目標達成のために次の国・県・市の施策を活用しました。

国・県・市の施策をフル活用

- ①相談を受け始めた平成二十八年五月は、ちょうど「平成二十七年年度補助金(国)」の公募時期であったため、補助金を申請。採択が決定し事業を実施。(追加したア

クティビティは、「マーメイド・ベイ(人魚のコスチュームで泳いだり写真撮影する)」でした。

②利用客が増え始めた

平成二十九年五月頃、以前から知り合いだった三重県の女性がスタッフに加わることになりました。当商工会も参加している「ななお創業応援カルテット」のメンバーでもある七尾市ふるさと振興課を紹介、「七尾市移住定住促進補助金」の受給が認められました。

③さらなるアクティビティを

強化するため、「平成二十八年度補正 小規模事業者持続化補助金(国)」にも申請し採択されました。(追加したアクティビティは、「グランピング(魅力的なキャンプ)」でした。

④近本代表が創業を決意した

理由は、「能登島をイルカと人間が共存する地域にする」ことでした。現在、能登島では、「野生イルカ」を地域資源として「イルカウォッチング」などができますが、先進地である小笠原や島原、天草には、未だ後れをとっています。

「野生イルカ」を能登島の観光の目玉とすべく、「いしかわ産業化資源活用推進ファンド(県)」の支援を受け、イルカウォッチングのブラッシュアップを行いました。(平成二十九年九月申請)

⑤閉歇期である平成二十九年

十一月に次シーズンの誘客活動を行うために「七尾鹿島経済交流促進協議会」の助成金を受け、

岐阜県大垣市まで出向宣伝を行いました。

代表のやる気と施策がマッチ

近本代表のやる気と国県等の施策がマッチした結果、知名度向上と当初の売り上げ目標は達成されました。今年度も引き続き売上は増加傾向です。

担当経営指導員から一言

近本代表が相談に来られた際の第一声は、「やりたいことがあるんですが、商工会に行ったら応援してくれるって聞いたんですけど」でした。

会員さんへの支援・お手伝いは、一回で終わりません。支援を続けていくためには、会員さんの信頼を得て二人三脚で行わないと効果は望めません。近本代表のやりたいことのお手伝いから始めることを、まず意識しました。その効果もあり、第二、第三の支援につながり成果が得られたと感じています。

能登鹿北商工会 澤井健一

Dolphin Smile
(ドルフィンスマイル)

〒九二六-0211
七尾市能登島向田町そわじ浦
TEL.090-7088-3333

澤井指導員が行ったDolphin Smile(ドルフィンスマイル)様への支援は、平成二十九年石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。